

## 日本語教育

概要	日本の国際化にともない世界中で日本語を学ぶ外国人が増えており、日本の国内外で外国人に対する日本語教育の需要が高まっています。本副専攻は、日本語教育副専攻に相当する資格の取得を目指すものです。
対象	すべての学生
修了要件	40科目中より26単位以上修得すること。

科目名	開講学類	単位数	修了要件内訳	備考	
現代日本の文化と社会	人間社会学域	2	「社会・文化・地域」 12科目中より 4単位以上		
国際学入門	国際学類	2		必修	
国際協力論		2			
日本文化		2		必修	
日本史概説		2			
日本経済論		2			
日本の伝統芸能		2			
日本政治・外交史		2			
日本の文学		2			
日本文化体験A		2			
日本文化体験B		2			
社会言語学				2	「言語と社会」 8科目中より 4単位以上
国際コミュニケーション論			2		
現代中国論A		2			
現代中国論B		2			
東アジア国際交流史		2			
米英言語思想論		2			
英語圏文化論		2			
現代ヨーロッパ社会論		2			
異文化理解		2	「言語と心理」 3科目中より 2単位以上		
第二言語習得論		2			
発達と学習の心理		2			
日本語教育学基礎		2	「言語と教育」 7科目中より 8単位以上	必修	
日本語教科書研究		2		必修	
日本語教授法A		2		必修	
日本語教授法B		2			
日本語教育とコンピュータ		2			
日本語教育評価法		2			
日本語教育史		2			
日本語学概論A		2	「言語」 10科目中より 8単位以上	必修	
日本語学概論B		2		必修	
日本語の文字・表記		2			
日本語の語彙・意味		2			
日本語史A		2			
日本語史B		2			
日本語文法A		2		必修	
日本語文法B		2			
音声学		2		必修	
対照言語学		2			

※以上のカリキュラムは、2000(平成12)年3月に文化庁・日本語教員の養成に関する調査協力者会議報告「日本語教育のための教員養成について」で示された「日本語教員養成において必要とされる教育内容」に準拠しています。また、副専攻資格の総単位数26単位は、文部省が1988(昭和63)年に発表した「日本語教育施設の運営に関する基準について」の「2. 大学(短期大学を除く)において日本語教育に関する科目を26単位以上修得し(副専攻)、卒業した者」の単位数に準拠したものです。

注)「言語と教育」の科目区分については、「日本語教授法A」の履修前に「日本語教育学基礎」を履修済であること、また、「日本語教授法B」を履修する場合には、「日本語教育学基礎」、「日本語教科書研究」、「日本語教授法A」を履修済であることを原則とします。「日本語教育実習A」「日本語教育実習B」については、原則として主専攻資格取得予定者のみが履修できる(副専攻の学生は原則履修できない)ので注意して下さい。